

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (971), 課コード (1005), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with a detailed budget breakdown table.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善案及び展開方向. Includes a row for '現状どおり推進' and a '評価コメント' section.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	972	課コード	1005	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)															
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 消防体制の強化・充実	個別事業 火災予防業務	実施計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		②部課名	消防本部・東消防署							
	③事業主体	<input checked="" type="radio"/> 市 <input type="radio"/> その他 ()		④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市										
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	48人 (換算人数)		7.04人								
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	61,248千円 (うち人件費 61,248千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード	70201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		部門別計画への位置づけ (計画名)					
(2) 目的	施策目的・展開方向	火災や水害などの災害から市民の生命と財産を守るため、消防施設・装備を充実し、近隣自治体や関係団体と連携を図りながら消防体制の強化を図ります。			事業目的	市民の防火に対する意識・意欲を高める事により、地域格差を無くした自主防災意識が確立され、災害を最小限に抑える。									
(3) 事業内容	内容	・住宅用火災警報機の設置の推進 ・自衛消防訓練 避難訓練、消火訓練及び防災資機材の取扱い指導 ・火災原因調査 火災発生時の原因の究明 ・広報活動 火災予防運動中、火災気象通報発令中及び災害時の避難広報等			当該年度執行計画	・随時 自衛消防訓練 ・火災発生時 火災原因調査 ・春、秋 火災予防運動中、火災気象通報発令中及び災害時の避難広報等 ・6月 住宅用火災警報機の設置率調査									
		当該年度活動結果指標	住宅用火災警報機の設置の推進100件、自衛消防訓練100件、広報活動100件	単位	件	想定値	300	実績値							
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値						
当該年度	火災予防活動を推進し、火災発生件数を減少する			直接	火災予防啓発活動の実施件数		件	0	300						
令和3年度	火災予防活動を推進し、火災発生件数を減少する			直接	火災予防啓発活動の実施件数		件		300						
令和4年度	火災予防活動を推進し、火災発生件数を減少する			直接	火災予防啓発活動の実施件数		件		300						
(7) 事業実施上の課題と対応	市民の協力が不可欠であり、広報・事前通知が必須である。			代替案検討	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無										
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度							
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
			住宅用火災警報機の設置の推進	0		住宅用火災警報機の設置の推進	0				住宅用火災警報機の設置の推進	0			
			自衛消防訓練	0		自衛消防訓練	0				自衛消防訓練	0			
			火災原因調査	0		火災原因調査	0				火災原因調査	0			
	広報活動	0		広報活動	0				広報活動	0					
	予算(決算)額	合計	0	合計	0	合計	0	合計	0						
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0		
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0		
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0		
	一般財源		0		0		0		0		0		0		
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0		
(10) 人件費等	換算人数(人)	6.64		7.04		7.04		7.04							
	正職員人件費	58,432		61,248		61,248		61,248							
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0							
	臨時職員賃金額	0		0		0		0							
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	58,432		61,248		61,248		61,248								
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	194.77千円/件		204.16千円/件												

2. 事業の評価 (DO+CHECK)											
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価			事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))					改善検討		
	消防法及び火災予防条例が改正され、一般住宅用火災警報機の設置が義務化となり、普及促進を図ることを継続的に実施しなければ市民サービスの水準が著しく低下するおそれがある。また、市民の防火に対する意識・意欲を高めることにより地域格差を無くした自主防災組織が確立され、災害を最小限に抑えることができることから、訓練等の推進は必要である。			○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>					○要 ○不要		
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他			□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <市実施の具体的な内容・必要性の理由> □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>					○要 ○不要		
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他										
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容			工夫の具体的な内容					実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)	参加・協働の程度・内容	
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし。									○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>	○要 ○不要
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点			取組む内容					実施した具体的な内容	環境への配慮	
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし。									○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>	○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(件)	目標値(b)(件)	目標値の妥当性のチェック					達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		
	0	300	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である					実績値(f)(件)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策					実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過	事業費の削減対策について
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託 <削減の内容>					実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法					達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>
	0.49	単位 費用単位 件	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費					実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100		

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (973), 課コード (1005), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget and personnel data.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes checkboxes for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充, 縮小) and a space for comments.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1649), 課コード (1005), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with a detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善案及び展開方向. Includes a progress status row (現状どおり推進, etc.)

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1650), 課コード (1005), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

Main table for Section 1: 事業の概要 (PLAN). Includes sub-sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a status legend at the top.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	1651	課コード	1005	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)															
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 消防体制の強化・充実	実施計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		②部課名	消防本部・東消防署								
	③事業主体	●市 ○その他 ()	④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市											
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	48人 (換算人数)		9.4人								
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	81,780千円 (うち人件費 81,780千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード	70201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		部門別計画への位置づけ (計画名)					
(2) 目的	施策目的・展開方向	火災や水害などの災害から市民の生命と財産を守るため、消防施設・装備を充実し、近隣自治体や関係団体と連携を図りながら消防体制の強化を図ります。			事業目的	市民を各種災害から保護するとともに、災害による被害を最小限に防止し市民生活の安全を確保する。									
(3) 事業内容	内容	管内の住宅環境や水利状況や道路事情を把握し、現場到着までの時間短縮を図り、災害による被害を最小限に抑える。 ・我孫子市警防要綱に基づき、各種訓練の実施、警防技術の習得及び向上を図る。 ・警防計画の見直し、更新。			当該年度執行計画	・年間訓練計画に基づき各種訓練を実施。 ・出場訓練及び警防調査の実施。 ・研修所入校を含め近隣市町で開催される各種講習会に参加。									
		当該年度活動結果指標	8.5分以内での現場到着率 (災害現場まで8.5分以内で到着した件数/災害件数)	単位	%	想定値	100	実績値							
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値						
当該年度	各種災害に対応できる警防体制の確立を図り、市民が安心して生活が出来る街づくりを目指す。			直接	8.5分以内で災害地点まで到着し活動することができる。		%	46	100						
令和3年度	各種災害に対応できる警防体制の確立を図り、市民が安心して生活が出来る街づくりを目指す。			直接	8.5分以内で災害地点まで到着し活動することができる。		%		100						
令和4年度	各種災害に対応できる警防体制の確立を図り、市民が安心して生活が出来る街づくりを目指す。			直接	8.5分以内で災害地点まで到着し活動することができる。		%		100						
(7) 事業実施上の課題と対応	都市化に伴う高層集合住宅等の増加による複雑多様化する災害に十分対応できる消防体制の維持及び更なる警防体制の確立を図るため、装備の充実及び適正な人員配置が必要である。			代替案検討	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無										
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度							
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
			警防業務 各種訓練の実施	0		警防業務 各種訓練の実施	0				警防業務 各種訓練の実施	0			
				0			0					0			
		予算(決算)額	合計	0	合計	0	合計	0	合計	0					
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0		
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0		
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0		
	一般財源		0		0		0		0		0		0		
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0		
(10) 人件費等	換算人数(人)	9.4		9.4		9.4		9.4							
	正職員人件費	82,720		81,780		81,780		81,780							
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0							
	臨時職員賃金額	0		0		0		0							
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	82,720		81,780		81,780		81,780							
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	827.2千円/%		817.8千円/%												

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	・昭和22年に消防組織法が施行され、これに基づき消防業務を実施している。 ・近年の災害傾向としては、都市化に伴う高層集合住宅等の増加で複雑多様化しているのが現状であり、それら災害に十分対応できる消防体制の維持及び更なる警防体制の充実・強化を図ることで、市民の安全安心を確保することができる。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) ■法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし。						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし。						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (%)	目標値 (b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要	
	46	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である		実績値 (f) (%)	達成率 (%) (f/b × 100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	○①国・県助成制度活用 ■②現行体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託		実績値 (g) (千円)	対事業費 (%) (g/c) × 100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要
	81,780	940	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他 <削減の内容>		<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>
	0.12	単位 費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値 (h)	対目標値 (%) (h/e) × 100			

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	1663	課コード	1005	会計種別		予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	--	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 消防体制の強化・充実	実施計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		②部課名	消防本部・東消防署							
	③事業主体	個別事業 空き地の適正管理指導	④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市										
	⑤事業期間	●市 ○その他 ()	⑥担当職員数	48人 (換算人数) 4.42人										
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度	当(初)	38,454千円 (うち人件費 38,454千円)		変(更)後	千円 (うち人件費 千円)						
	⑧施策の位置づけ	施策コード 70201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無 部門別計画への位置づけ (計画名)							
(2) 目的	施策目的・展開方向	火災や水害などの災害から市民の生命と財産を守るため、消防施設・装備を充実し、近隣自治体や関係団体と連携を図りながら消防体制の強化を図ります。			事業目的	空き地に繁茂し、又は放置されている雑草等の除去に関し適正に管理するよう所有者に対し指導することで火災発生率の軽減を図る。								
(3) 事業内容	内容	市内全域において雑草等が繁茂すると予測される空き地に対して、年間4月、8月、11月の3回の調査と該地に通知して適正管理の指導を行う。雑草除去の向上を図るため、所有者に対し草刈り機の貸し出しや雑草等刈取事業者の紹介を行う。			当該年度執行計画	・4月 該当地を調査 ・5月 該当地の所有者等へ適正管理の依頼文を通知 ・8月、11月 繁茂地の調査 (繁茂地には、所有者へ適正管理依頼文を通知)								
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標	単位	(5) 現況値	(6) 目標値					
当該年度	空き地の雑草繁茂度を減少させ、火災の発生を軽減する。	直接			空き地の雑草処理率=該当地の雑草処理件数/該当地件数	%	80	100						
令和3年度	空き地の雑草繁茂度を減少させ、火災の発生を軽減する。	直接			空き地の雑草処理率=該当地の雑草処理件数/該当地件数	%		100						
令和4年度	空き地の雑草繁茂度を減少させ、火災の発生を軽減する。	直接			空き地の雑草処理率=該当地の雑草処理件数/該当地件数	%		100						
(7) 事業実施上の課題と対応	空き地の所有者が刈取りを行わない場合も多く、根気強く継続的に刈取りの指導を行う必要がある。			代替案検討	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無									
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度						
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			空き地の調査・所有者への指導	0		空き地の調査・所有者への指導	0		空き地の調査・所有者への指導	0				
		予算(決算)額	合計	0	合計	0	合計	0	合計	0				
		国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0				
県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0						
起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0						
一般財源		0		0		0		0						
その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0						
(9) 財源内訳	換算人数(人)	4.42	換算人数(人)	4.42	換算人数(人)	4.42	換算人数(人)	4.42						
(10) 人件費等	正職員人件費	38,896	正職員人件費	38,454	正職員人件費	38,454	正職員人件費	38,454						
	嘱託職員報酬額	0	嘱託職員報酬額	0	嘱託職員報酬額	0	嘱託職員報酬額	0						
	臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0						
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	38,896	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	38,454	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	38,454	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	38,454						
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	388.96千円/%		384.54千円/%											

2. 事業の評価 (DO+CHECK)											
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討		
	我孫子市火災予防条例、空き地に繁茂した雑草等の除去に関する条例等により所有者に対して空き地の適正な管理を指導し、火災もしくは犯罪の発生を軽減することにより、住民の生活の安全が図れる。				<input type="radio"/> 事前確認での想定どおり <input type="radio"/> 事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				<input type="radio"/> 要 <input type="radio"/> 不要		
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由)		<その他の内容>		①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		<input type="radio"/> 要 <input type="radio"/> 不要		
	<input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他				<input type="checkbox"/> 市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> 市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> 市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> サービス水準が確保された <input type="checkbox"/> サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> その他 <その他の内容>						
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容			工夫の具体的な内容			実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)			<input type="radio"/> 要 <input type="radio"/> 不要	
	<input type="checkbox"/> ①事業計画時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ②事業実施時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ③管理・運営に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ④市民の自主的な活動と連携している <input type="checkbox"/> ⑤市民と共同で事業を実施 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥その他 <その他の内容> 該当なし。						<input type="checkbox"/> ①当初期待した以上 <input type="checkbox"/> ②当初期待したとおり <input type="checkbox"/> ③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>				
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容			環境への配慮			
	<input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> ⑤その他 <その他の内容> 該当なし。							<input type="checkbox"/> ①想定どおり <input type="checkbox"/> ②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>			
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック			達成状況	<input type="checkbox"/> ①目標値達成 <input type="checkbox"/> ②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因>			<input type="radio"/> 要 <input type="radio"/> 不要	
	80	100	<input checked="" type="checkbox"/> ①客観的なデータ・事実に基づき設定している <input type="checkbox"/> ②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である			実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)				
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策			実施状況		<input type="checkbox"/> ①想定事業費未済 <input type="checkbox"/> ②概ね想定事業費以内 <input type="checkbox"/> ③想定事業費超過 事業費の削減対策について <input type="checkbox"/> ①事前の想定どおり <input type="checkbox"/> ②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>			<input type="radio"/> 要 <input type="radio"/> 不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	<input type="checkbox"/> ①国・県助成制度活用 <input checked="" type="checkbox"/> ②現有体制での対応 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ④民間委託 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ⑦その他			実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100				
	事業費削減率(%)		<削減の内容>			<超過理由等>					
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法			達成状況		<input type="checkbox"/> ①目標値以上 <input type="checkbox"/> ②目標値と同程度 <input type="checkbox"/> ③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>			<input type="radio"/> 要 <input type="radio"/> 不要
	0.26		<input checked="" type="checkbox"/> ①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 <input type="checkbox"/> ②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費			実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100				

3. 事後評価										
<input type="checkbox"/> 現状どおり推進 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 結合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業手法見直し <input type="checkbox"/> その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善案及び展開方向				

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	1693	課コード	1005	会計種別		予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	--	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 消防体制の強化・充実	実施計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		②部課名	消防本部・東消防署							
	③事業主体	個別事業 消防立入検査業務	④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市										
	⑤事業期間	●市 ○その他 ()		⑥担当職員数	48人 (換算人数) 3.64人									
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	31,668千円 (うち人件費 31,668千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	70201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無			部門別計画への位置づけ (計画名)			
(2) 目的	施策目的・展開方向	火災や水害などの災害から市民の生命と財産を守るため、消防施設・装備を充実し、近隣自治体や関係団体と連携を図りながら消防体制の強化を図ります。			事業目的	市内防火対象物に対し立入検査を実施し、自主防火管理の充実を働きかけ防火安全の確保を図る。								
(3) 事業内容	内容	消防法第4条、第16条の5及び我孫子市予防査察規程に基づき、年間定期査察計画をたて、市内防火対象物に対し立入検査を実施する。防火管理の状況や消防用設備等の管理状況が適正であるかどうか確認し不備がある場合には立入検査結果通知書により指摘し改修計画書により是正を促す。また、重大な消防法令違反に対しては公表制度に則り、違反のある建物の情報を公表することで是正の徹底を図る。			当該年度執行計画	・年間定期査察計画に基づき、防火対象物の立入検査実施 ・2月次年度の年間定期査察計画の作成 ・通年 違反対象物に対して追跡調査の実施								
		当該年度活動結果指標	立入検査実施件数	単位	件	想定値	60		実績値					
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値					
当該年度	立入検査を実施し関係者の防火意識の向上を図る。			直接	立入検査の実施率=立入検査実施件数/年間定期査察計画数		%	100	100					
令和3年度	立入検査を実施し関係者の防火意識の向上を図る。			直接	立入検査の実施率=立入検査実施件数/年間定期査察計画数		%		100					
令和4年度	立入検査を実施し関係者の防火意識の向上を図る。			直接	立入検査の実施率=立入検査実施件数/年間定期査察計画数		%		100					
(7) 事業実施上の課題と対応	関係者の防火管理の認識が低いケースが見受けられるため、防火管理の徹底を図らせ、火災予防の重要性を認識させる必要がある。			代替案検討	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無									
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度						
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			立入検査の実施 自主防災管理の充実に向けた働きかけ	0		立入検査の実施 自主防災管理の充実に向けた働きかけ	0		立入検査の実施 自主防災管理の充実に向けた働きかけ	0				
				0			0			0				
		予算(決算)額	合計		0	合計		0	合計		0	合計		0
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	
	一般財源		0		0		0		0		0		0	
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	
(10) 人件費等	換算人数(人)	3.44		3.64		3.64		3.64						
	正職員人件費	30,272		31,668		31,668		31,668						
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0						
	臨時職員賃金額	0		0		0		0						
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	30,272		31,668		31,668		31,668						
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	504.53千円/件		527.8千円/件											

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	消防法、火災予防条例に基づく事務事業が必要である。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他	<その他の内容>			○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>				<市実施の具体的な内容・必要性の理由>
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる <input type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/> その他				<その他の内容>				○要 ○不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし。						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	<input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし。						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要	
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している <input type="checkbox"/> ②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	○①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 ○③維持管理費の削減策の実施 ○④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	0.32	単位 費用単位 %	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									
評価	評価コメント				改善策及び展開方向				